

With

ウィズセンター情報誌

2011 autumn Vol. 58

特集

今こそ女性の力を活かすとき

～女性が生き生きと働ける職場とは?～



今こそ女性の力を活かすとき ～女性が生き生きと働ける職場とは?～



働く女性の増加とともに女性が働き続けやすい環境を整える企業も増えてきました。社員を経営者の最も頼りになるパートナーと考え、ともに育ち合い、活力ある豊かな人間集団としての企業づくりに取り組んでいる岡山県中小企業家同友会のみなさんに、女性の力をどうとらえ、それを活かすためにどのように取り組んでいるかをお聞きしました。



お集まりいただいた方々

〈後列左から〉

小野 英之さん（製造業）
小山 敏章さん（薬局経営）
土井 章弘さん（病院経営）
河合 智哉さん（運送業）
有松 修一さん（環境サービス業）

〈前列左から〉

前原りつこさん（看板業）
林 明美さん（経理派遣業）
山口 陵子さん（金属加工業）

女性が力を発揮するには？

- 【林(司会)】まず、皆さんの事業所での女性の採用とポストに関する現状と問題点をお聞かせください。
- 【有松】女性のポストとしては、主任で、主に経理を採用しています。技術職の社員もいますので、課長職も考えてもいいのかなと思っています。
- 【小山】採用は男女を問いません。当社では現在、社員の8割が女性です。そのうち、部長が1名、店舗の管理者も4名います。
- 【土井】病院というのは女性が多い職場で、管理職も増えています。子育て中のドクターも2名おり、本人の希望に沿った短時間勤務も取り入れています。
- 【小野】今は採用そのものが難しい状況ですが、工場なので、男性が幅を利かせるところもあります。しかし、女性はあきらめずにきちんと仕事をしてくれるし、連帯感もあるので、頼もしいと思います。
- 【林】女性にどんな役割を担ってほしいですか？ また、どういう力が発揮できていますか？
- 【前原】総務から経理へ替わったパートの方がすごい

力を発揮しています。経費削減についても、やわらかい言い方で伝えてくれるので、抵抗感がなく、お母さんの存在です。ある程度『責任』を持ってもらうと力を発揮できるのですね。時間の使い方も上手です。確実な仕事をしてくれるのも女性です。

- 【小野】パートは補助という感覚でしたが、「パートさん」でなく「〇〇さん」という目で見ると、力が見えてきます。今までの仕事のキャリアを活かした提案をしてくれたり、見えない所に気を配れるのも女性です。コスト意識もきちんとしています。
- 【有松】男性社会という『風土』を変えたかったので、7～8年前から女性を増やしています。女性社員の声かけで場がなごみ、社内の雰囲気も落ち着いてくるような気がします。男女関係なく、力があれば上になっていきます。
- 【土井】ナースはまじめでよく勉強もします。ワーク・ライフ・バランスを進めるためには、女性が働きやすい職場環境を整えることが必要だと思います。そして、お互いのコラボレートが大切です。男女だけでなく、健常者・障がい者ともに、心地よい組織づくりをしていくべきですね。

本当の働きやすさとは？

- 【小山】話を聞いていると、男性はがさつで女性はきめ細やかなように聞こえますが、男女ではなく、一人ひとりの特質だと思います。労働人口の減少に伴い、女性も職場に出ていくべきで、男女を問わずできる仕事があるはずで、働きやすい環境を整えるためには、社会保険や有給休暇といった待遇の問題も大きいと思います。それから、家族に理解してもらうことも大切です。当社では仕事の参観日なども実施しています。運動会の時期などは、子育て中の人に優先的に休日を取ってもらうなど、工夫することでクリアできる問題もたくさんあるのではないのでしょうか。
- 【前原】ある面接で、子どもが2人いる女性に「明日か

ら来てください」と言うと、泣かれてしまったことがあります。子どもがいるというだけで断られ、すでに8社目の面接だったようです。当社では、子どものことは最優先で考えて受け入れています。時給も条件でしょうが、やはり子育てしやすい職場でないと働きにくいと思います。

【土井】「休んでいいよ」とお互いに言い合える『風土』は大事です。中小企業家同友会では「人」を大切にしていますよね。

働く側の意識は・・・

【小山】 休むと仕事が滞り、迷惑をかけることになります。でも、「休める」ということが働きやすさだとすれば、休もうとするその人自身が、普段どういう心構えで働いているのかも重要です。他の人が困っている時、「いいよ、休んでも大丈夫だよ」と言っているかどうか。権利の主張だけではなく、お互いが「どうぞ休んでください」と言い合える環境は大切だと思います。

【有松】 以前は有給休暇が取りにくい雰囲気でしたが、社員に労働者の権利だと説明してから、取得率は61%になりました。工夫をすれば問題はないと思います。また、休みやすい環境づくりも大切ですね。それには信頼関係も必要です。来年は「くるみんマーク^{*}」も取得したいと考えています。

【土井】 男性の育休取得者が4名います。特別休暇として5日間取りました。彼らは口をそろえて、子育ての大切さを語ってくれますよ。

【前原】 働く側の意識は大切ですね。会社側も待遇など、努力をしています。働く人も助け合いの意識を持ってほしいです。例えば、子どものために休んだときに、代わりに土曜日に出てきてカバーしてくれている人がいますよね。お互いに思いやりながら、助け合っていくことも大事です。

【土井】 経営理念に基づき、経営指針を社員とともに学んでいくことも大切だと思います。今年はワーク・ライフ・バランスも取り入れています。

【有松】 当社でも、ワーク・ライフ・バランスを取り入れた経営指針を作成しています。

【小山】 これから仕事へ就こうという人たちへの啓発も必要ですね。「なぜ、女性が社会へ進出していくべきか」について、伝え方が十分ではないような気がします。働きやすさの本質とはいろいろな要素があると思いますが、「やりがい」もひとつの要素ではないでしょうか。

少子高齢化の時代に

【林】 人口減少や少子高齢化に伴い、働き手が減少

する状況が起きてきます。会社経営にも危機感を持つべきで、女性の雇用は重要な課題だと思います。意識が希薄な人はまだまだ多く、今日のような機会をとらえて、発信していきたいと考えています。

【河合】 少子高齢という状況下で、女性の力は重要だと思います。女性が生き生きとしている会社は伸びています。当社は物流という業種ですが、女性を雇用できる仕事を創出することも必要かなと思います。

【林】 介護問題を考えると、男性の働き方も考えておく必要があります。社会の変化に対応できるようにしておかなければなりません。

【小野】 経営の維持という点では、バランス感覚も大事です。消費者として本質を直感的にとらえる力は女性の方が優れていると思いますし、命を育てた女性の力を発揮できる仕組みを考えるべきだと思います。

【前原】 「女性は生活者の視点で経営を」ということを聞いたことがあります。明日がわからない時代には「今」の感覚が大事だと思います。「今」を生きるという時代だからこそ、女性の力が重要だと思いますが、もちろん男性の力も必要です。バランスが大切ですね。

働き続けるという選択

【小山】 性別にかかわらず、ずっと働き続けたいと思っている人は多いと思いますが、女性は結婚や出産をきっかけに仕事を辞めるケースもありますよね。

【山口】 以前、営業の仕事をしていた時のことですが、主婦の方が相手だと話がなかなか進みませんでした。なぜかというと、経済力がないために「自分で決める」ということができないんです。そうした経験から、自分はやはり仕事を続けようと思いました。

【前原】 私の場合は「奥さん」になろう、と結婚しました(笑)。でも、本当にピンチに立ったとき「働こう!」と思いましたね。

【林】 女性は結婚が一つの節目になります。「結婚」という現実の中で、働き続けていける環境を整えることも大切ですね。

【小山】 環境を変える必要のない人もいます。仕事に対して高い意識のある人とそうでない人とに差をつけることも必要なのではないのでしょうか。

【土井】 それにはちょっと異論があります。みんな幸せを求めているのだから、それぞれのライフステージを受け入れればよいと思います。女性の結婚願望は非常に良いことで、その時そ

^{*}くるみんマーク

「次世代育成支援対策推進法」に基づき、「子育てサポート企業」として厚生労働大臣の認定を受けた企業に使用が許されるシンボルマーク

の時で判断をしていけばよいのではないでしょう。

【小山】今は「生活の質」と「仕事の価値」の両方が求められています。ところで、女性のみなさんは、仕事をずっと続けようと思って働き始めましたか？

【山口】私は一生働きたいと思って転職を考えました。女性が一生働くためには、全国どこでも働ける国家資格を取得するのがよいと考え、美容師の資格を取りました。ところで、男女問わず働き続けられる環境を整えるという情報は、ハローワーク以外にも発信している所があるのでしょうか？

【土井】男女共同参画推進センターもやっていますよ。そういうことを発信しようと思っている所はたくさんあるはずですよ。

【有松】育休を取れるようにした時、パートの方にも取ってもらいました。時給880円の方が休んでいる間、派遣社員を雇ったんです。一年経って戻ってきてくれたらいいのですが、もし辞められてしまったら考えると、とても恐かったですね。会社も投資しているんだということもわかってもらいたいです。

【前原】制度があるというのは良いとして、これから働く人に、ライフステージごとに社内研修をやっていくべきだと思います。やりがいのある会社になれるかどうかということも大切です。

【有松】会社側としては長く勤めてほしいですね。

【林】私はずっと働いてきて、12年前、会社を興しました。主婦が働ける場をと考え、限られた時間を有意義に使えるようにフレックスタイムを導入するなど、ワーク・ライフ・バランスを目指しながらやってきましたが、壁に当たったんです。「自由」を推奨してきましたが、自己管理が難しい。働く環境は自分でつくるものです。制度だけの問題ではなく、意識の問題です。そういった意味でも、経営者の果たす役割は大きいですね。

人間尊重の経営を

【山口】みなさんのお話から、社員にとっても男女一緒の方が働きやすいのだと確信しました。経営が楽になったら…とも思いますが、良いことがあるから、苦しい中でも女性の雇用に取り組んでいくべきなのですね。

【土井】人間は一人ひとり違います。学び、成長し、変わっていきます。人は関係性の中で生きていくんです。人間にとって大切なのは、本当のライフライン。水道や電気というのはパイプラインです。ライフラインとは心と心。ワーク・ライフ・バランスもそうです。心と心の触れ合いが、家庭、地域、職場などどこでも

必要です。本当の意味のライフラインを張り巡らせば、会社経営もうまくいくはずですよ。

【前原】苦しいときこそ課題が見えてきます。制度的なもので括らず、経営者の心で関係性をつくっていく。人間尊重の経営ですね。

若い人たちへ

【林】今、働きたいという意識を持つ若い人たちが少なくなってきました。若い方々に何かメッセージをお願いします。

【土井】短時間制度を取り入れており、子どもができてほとんど辞めずに復帰します。36名のナースのうち、一人も辞めていません。

【有松】若い人は「何をやりたいか」でなく、「何をやらされるか」と思っているようです。仕事は誇り、やりがいが無ければできません。育休を取った後に戻ってきてくれるというのは、喜びでもありますね。「この会社で働きたい！」と思う会社づくりが必要ですね。

【前原】若い人には「とにかく行ってみて、飛び込んでみて」としか言えません。中学や高校にも、経営者の声が届くような取り組みが必要なのかもしれませんね。

【林】学生の時に「夢」を見つけられる人は少ないと思います。「仕事」というのは、縁あって就いた仕事を一生懸命することだと思うんです。

【小山】「仕事」は拘束されることなく、生活の一部。ライフステージや仕事と生活のバランスをイメージすると、見えてくるものもあると思います。

【河合】「教育」という観点からすれば、学生と企業がもっと密着していくことも必要です。学生とディスカッションしていく中で、ワーク・ライフ・バランスに取り組むことが大切なのではないでしょうか。

【山口】どこへ就職するかではなく、どう生きるかを考えた時、具体的に働き方というものが見えてくるのかもしれないですね。



女性の活用について、熱く語り合うみなさん

ウィズセンターの運営委員でもある 林明美さんに座談会を終えての感想を お聞きしました。

当社では幹部社員4名のうち、3名が女性です。以前はパート勤務だった方が2名います。主婦が働くということは家族の理解も必要。本人が生き生きと働く姿を見せながら成長し、家族とのいい関係づくりをしてほしい。社員の成長は会社、企業の成長にもつながります。

女性の雇用に関しては、まだまだ古い考えの経営者もいます。何かアクションを起こして広げていきたいと思います。以前から同友会でこんな話し合いをしてみたいと思っていました。今日のこの機会をいただきましたことに心より感謝申し上げます。



※岡山県中小企業家同友会とは

1985年11月、全国29番目の同友会として創設され、現在、県内5つの支部（岡山、倉敷、津山、吉備高原、東備）で活動を行っている。

経営指針の成文化、社員教育、共同求人等を三位一体の活動と位置づけ、積極的な取り組みを進めており、その先進的かつ充実した活動内容は高く評価され、全国的にも注目を集めている。

三大大行事として、新春経営講演会、経営者フォーラム、教育講演会を開催している。

HPアドレス <http://www.okayama.doyu.jp/>



講座報告

地域リーダー・ステージアップ講座 ～地域やグループの絆を深めよう～

第1回・第3回 講師：森田恵子さん(フリーアナウンサー)

第1回「組織や集団の中で人間関係を深める立ち居振る舞い」 (9月9日)

「第一印象は何で決まる?」「立ち居振る舞いのポイント」など、人間関係をつくっていく中で知っておくべき基本の事柄に加えて、姿勢、表情、身だしなみや敬語など言葉づかいまでを、ワークを交えながら学習しました。参加者は日本語の難しさに改めて気づいたり、普段の自分を振り返ったりしながら、人間力に磨きをかけました。

第3回「リーダーに求められるコミュニケーション(傾聴力)」 (9月30日)

二人組のワークを通して、コミュニケーションの基本である「聴く」「話す」ということの本質を体験しました。

「話す」「聴く」「質問する」というワークの中で、会話の主導権は話し手ではなく聞き手が握っていること、「聴く」ということの難しさや大切さなどを体感しました。



第2回・第4回 講師：筒井徹也さん(キャリアコンサルタント)

第2回まちづくりを活かす「現代版リーダーシップ1(組織づくり)」 (9月15日)

「リーダーとは集団を目的へ進める機能である。」として、「どうやったらできるのだろうか?」と考えていくスイッチを入れるところから、みんなで共有できる理想型に「まちづくり」のゴール設定をして、企画・計画・実行が上手にいく方法について学びました。

第4回まちづくりを活かす「現代版リーダーシップ2(組織運営)」 (10月6日)

前回の学習を元に、「事実」と「真実」の違いについて考え、意図が明確な企画書を作ることや、課題をわかりやすく表現することが重要であることを学習しました。自分の実現したい「想い」を形にするために、他人に「楽しい」「得する」を提供する企画から現代版リーダーシップが生まれます。参加者の活動の可能性が拡がることに期待して連続講座が終了しました。



ウィズフェスティバル2011

開催間近!

テーマ 次世代と築こう 渡そう 参画社会 ～声かけあって 絆深めて～

開催日 11月11日(金)～12日(土) 会場 きらめきプラザ(岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館)
岡山市北区南方2-13-1

11月12日(土) 記念講演

12:30～開場 13:20～開会・挨拶・表彰式 14:00～開演

講演 「家族のつながり、地域のつながり、今大切なこと ～震災報道の現場から～」

講師 ^{すぎお ひでや} 杉尾 秀哉 さん(TBSテレビ報道局 解説・専門記者室長)

会場 きらめきプラザ301会議室

定員 先着240名(締切11月4日)

その他 手話通訳あり 託児あり(要電話予約 締切11月4日)



11月11日(金) 実行委員会自主企画事業

シンポジウム

「油断大敵!!災害の少ない岡山に安心していませんか?」

コーディネーター 徳田恭子さん (NPO法人まちづくり推進機構岡山)

パネリスト 阿部光希さん (山陽新聞社 論説委員)
久保佐織さん (井原地区消防組合 消防士)
竹井悦子さん (災害ボランティア)

時間 13:30～16:00

会場 きらめきプラザ401会議室

定員 先着100名(締切11月4日)

その他 手話通訳あり
託児あり(要電話予約 締切11月4日)

徳田恭子さん(コーディネーター)からのメッセージ

東日本大震災以降、毎日あふれるような防災情報がメディアから流れています。皆さんは、本当に必要な情報をキャッチできていますか?

実は、毎日の生活が、災害時の適切な行動に通じています。「もしものとき」「いつものとき」に。日頃からの備えについて、みんなで一緒に考えましょう!



「防災ずきん作りに挑戦!」

時間 16:00～17:00 定員 先着10名

会場 ウィズセンター会議室 参加費 500円(材料等を含む)

11月11日(金) 登録団体企画

ウィズセンター会議室

- 10:30～12:30(主催:おかやま女性国際交流会)
「日本女性会議2011松江」報告会
講演会「協働による男女共同参画社会づくりを目指して」
- 13:30～17:00(主催:社岡山県栄養士会)
あなたの家の備えはできていますか?
「災害時に役立つ食の備え」展示・説明
講師:本多佳代さん

706会議室

- 10:30～12:00(主催:チョボラ・ジュニアの会)
「こんなときどうする!?災害・緊急時の対処法
～日赤の救急法から～」
講師:日本赤十字社岡山県支部指導員
- 12:10～13:00(主催:邑久ライフフォーラム)
「楽しく学ぼう!防災・減災
～さあ、どうする?その時のために～」
人形劇:とっとこクラブ

交流サロン

- 10:00～12:30(主催:岡山地域ピーチの会)
コーヒー、紅茶でほっとひととき「サロンDEきずなカフェ」
- バザー10:00～12:00、カフェ12:30～15:00
(主催:NPO法人さんかくナビ)
「ルン!ルン!バザー&teaを楽しもう
～心ワクワクみんなで楽しいひとときを～」
- 10:00～12:00(主催:14期岡山県女性のバス)
「残り布でエコバッグづくり
～はじめよう!できることからエコライフ～」
講師:玉野市環境講座受講生

705会議室

- 10:00～12:00(主催:KHJ岡山きびの会)
「幸せを育むすてきな人間関係」
講師:萩尾寛江さん

申込方法

電話・FAX・はがき・Eメールで
①希望行事名②氏名③電話番号を
ウィズセンターまでお知らせください。

同時開催 パネル展示11/1(火)～11/30(水)

- ・イーブくらしきネットワーク
- ・岡山県交通安全母の会連合会
- ・岡山県退職女性教職員の会
- ・(財)岡山県母子寡婦福祉連合会
- ・岡山市婦人防火クラブ連絡協議会
- ・おかやま女性国際交流会
- ・岡山女性フォーラム
- ・岡山友の会
- ・新老人の会岡山支部
- ・世界女性会議岡山連絡会
- ・(社)被害者サポートセンターおかやま

ウィズライブラリー ～新着図書より～

「震災の備え」特集



『地震イツモノート』

- ・地震イツモプロジェクト 編
- ・ポプラ文庫 (2010年)

いつもの生活の中で地震に備えておくべきことは？体験者の知恵と工夫をもとにした防災マニュアル。



『非常食最強ガイド』

- ・エクスナレッジ編集部
- ・エクスナレッジ (2011年)

非常時に生き延びるための「食」の基礎知識から健康を維持する食事法まで、テーマ別にわかりやすく解説。



『災害ボランティアブック』

- ・平凡社 編
- ・平凡社 (2011年)

災害ボランティアとして活動するための心得や基本情報と東日本大震災でのボランティアの活動記録。

映画のつどい

☆次回の映画のご案内

12月8日(木) 13:30～15:30

「おいしいコーヒーの真実」

「フェアトレード」(公正な取引)について考えてみませんか。

参加無料

参加のお申し込みは、ウィズセンターへ
(TEL 086-235-3307)

やってみよう!

2択式 男女共同参画クイズ?

Q1 世界で初めて女性参政権を導入した国は?

- A ニューージーランド
- B イギリス

Q2 婦選運動に奔走した市川房枝さんが参院選で全国トップ当選を果たした時の年齢は?

- A 79歳
- B 87歳



クイズの答えは、裏表紙をご覧ください。

交流サロンからこんにちは

自由な交流スペース「交流サロン」を例会やミーティングに活用しているグループを紹介します。



◇岡山ふれあいゼミナール◇

「岡山ふれあいゼミナール」は、母と子の幸せを願い、母乳育児に関わる助産師、看護師の教育とその知識啓発、充実を図るために活動しています。

グループ活動内容は?

母乳育児の普及、指導に関する研修の実施や、助産師のための母乳育児セミナーの開催です。

メンバーはどんな方々?

母乳育児を力強く推進している岡山県内の医師、助産師など医療従事者の集まりです。

若い助産師さんたちに、もっと参加してほしいですね。

今日はどのような会合?

平成24年2月25日(土)～26日(日)、岡山プラザホテルで開催する「第20回助産師のための母乳育児セミナー」の準備のために集まりました。



セミナー開催に向け活発に議論中

「交流サロン」利用の感想は?

予約できるのが便利です。貸し会議室と違い、管理してくれる職員がいるので、安心して利用できます。無料なのも、もちろん魅力です。

ウィズセンターにひとこと

いつも気持ちよく利用させていただいています。職員の対応もソフトで、和やかな雰囲気です。

メンバーは県内全域から集まるので、中心部にあり集まりやすいし、仕事を持っているので、土曜日、日曜日に利用できるのは助かります。

登録団体なので、メールボックスを利用できる点、いろんな情報を得ることができる点も魅力ですね。



多忙な仕事の合間をぬって集まったメンバーさん



今号の表紙

よこやましのり
デザイン：横山佳典さん(岡山商科大学専門学校 IT デザインワーク科)

(作品のコンセプト)

舞い散る紅葉を秋っぽい色合いの物と配置しました。暖かみを加えるため、カーペット素材をベースに配置しています。

インフォメーション

ウィズセンター 出前講座のご案内

男女共同参画の研修会を開きませんか？
無料で講師を派遣します！

ウィズセンターでは、岡山県内の各団体（地域コミュニティ、女性会、老人会、PTAなど）や学校、職場などで男女共同参画を学習してみたい方々を対象に、出前講座を行っています。

講座の内容はビデオやDVDを見ていただき、楽しく、わかりやすいものになっています。ウィズセンターの出前講座をぜひご利用ください。

講師 ウィズセンター情報交流員 **内容** 男女共同参画の基礎的なもの
※講師謝金、旅費などは不要です。講座に必要な資料も無料で用意します。

出前講座への申込方法

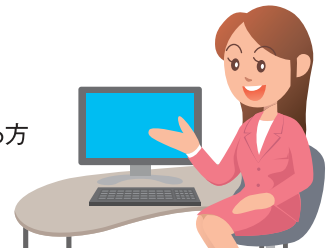
「研修内容・時間」「希望の日時」「参加人数」「参加対象」などをウィズセンターまでお知らせください。



キャリアアップ講座(倉敷)の受講者募集

就職を希望する女性を対象にエクセル3級程度のパソコン講座を倉敷市で開催します。

- 1 申込受付 平成23年12月2日(金)から12月15日(木)までに受講申込書を郵送でウィズセンターにお送りください。
- 2 受講期間 平成24年1月17日(火)～2月22日(水) 期間内の火～金曜日の22日間
- 3 会場 ウィズアップくらしき(倉敷市男女共同参画推進センター)
倉敷市阿知1-7-1-603 天満屋倉敷店6階
- 4 応募資格 結婚等でいったん仕事を中断し再就職を希望する女性で22日間出席できる方
- 5 受講料 無料(教材費・検定受験料は実費負担)
- 6 募集人数 28名(選考により決定)



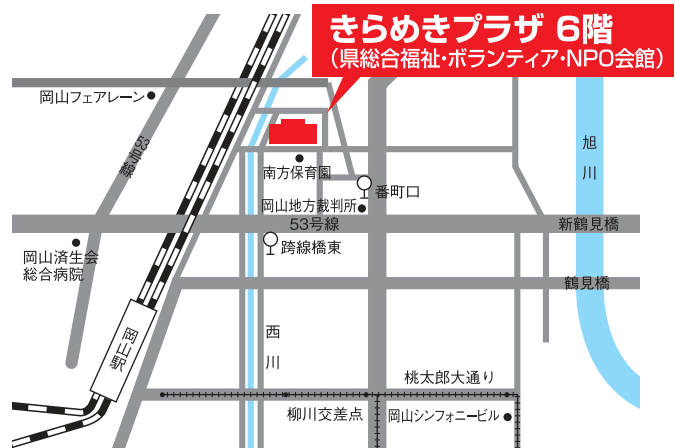
ウィズセンターは**土・日曜日**も開館しています。
お気軽に、お越しください。

ウィズセンターはこんなところ

開館時間 火～土曜日 / 9:30～20:00
日曜日 / 9:30～17:00

休館日 月曜日・祝日・年末年始

- 情報提供**
 - 図書・ビデオ・DVDの貸出
 - 人材情報・各種団体の活動情報の提供
 - 男女共同参画に関する資料の閲覧
- 各種講座**
 - 男女共同参画に関する各種講座の開催
- 相談**
 - 相談員による一般相談
火～土曜日(祝日を除く) 9:30～17:00
(受付は16:30まで)
 - 特別相談(予約制)
弁護士による法律相談 原則第2・4金曜日
医師によるこころの相談 原則第1・3金曜日
 - 相談専用電話 ☎086-235-3310
- 就業支援**
 - 就業に役立つ講座の実施
 - 就業に関する情報の提供
- 交流**
 - 各種団体へ活動・交流の場と機会を提供
- 広報**
 - 情報誌の発行(年4回)
 - メールマガジンの配信(毎月)



ウィズセンターへお越しの際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。

ウィズ秋号
(Vol. 58)

2011年10月発行

編集・発行 / 岡山県男女共同参画推進センター(ウィズセンター)
〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1
きらめきプラザ(県総合福祉・ボランティア・NPO会館)6階
TEL(086)235-3307(代) FAX(086)235-3306
Eメール: danjo@pref.okayama.lg.jp

ホームページ
<http://www.pref.okayama.jp/>
岡山県トップページ
▷組織で探す▷県民生活部▷男女共同参画推進センター(ウィズセンター)

講座等のお申し込み、お問い合わせ、ご意見は、ウィズセンターへ

※P6クイズの答え: Q1...A、Q2...B

岡山県男女共同参画推進センターのホームページはこちら <https://www.pref.okayama.jp/soshiki/187/>



再生紙配合率100%再生紙を使用しています